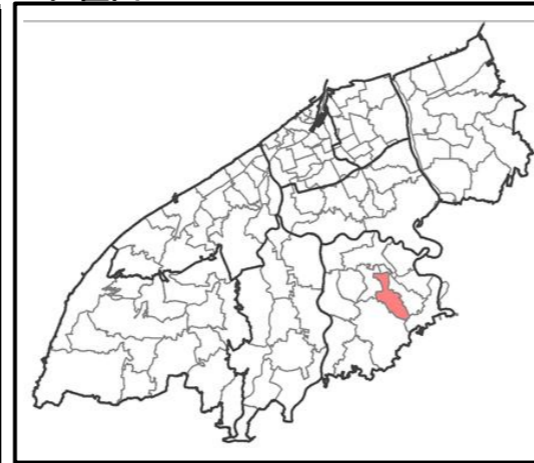


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address, City/Town/Village, and other details. Includes entries like 秋葉1~3丁目, さつき野4丁目, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations such as 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, etc.

●人口

Table showing population statistics by age group (0-4, 5-14, 15-74, 75+) and household data. Includes a pie chart showing age distribution.

●建物関連指標

Table showing building-related indicators by construction year (S55以前, S56以降) and material (木造, 非木造). Includes a pie chart showing building material distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings within the district, including 新津第一小学校, 新津第一幼稚園, etc.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

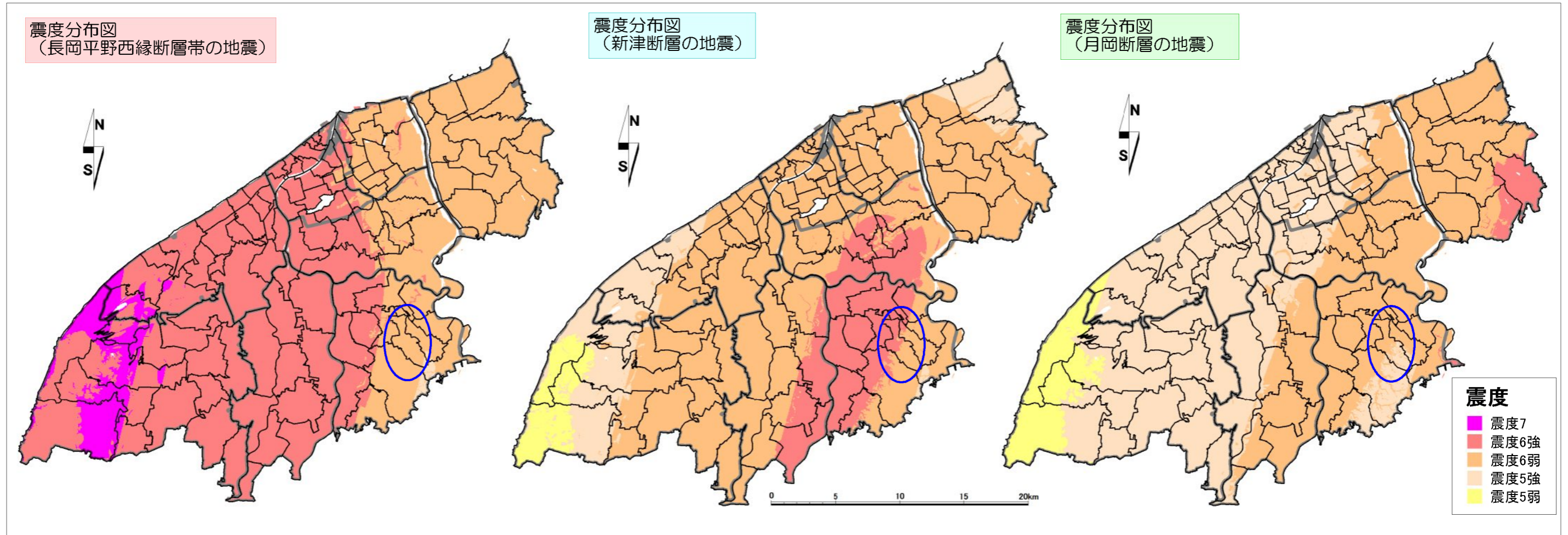
Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings outside the district, including 新津第三小学校, 秋葉区総合体育館, etc.

Table with columns for evacuation site name, height, and evacuation status for various disaster types (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」、避難可能な階数を「階数」、開設しない施設を「-」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks for 地震・津波 and 水害・土砂, describing potential hazards in the district.



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

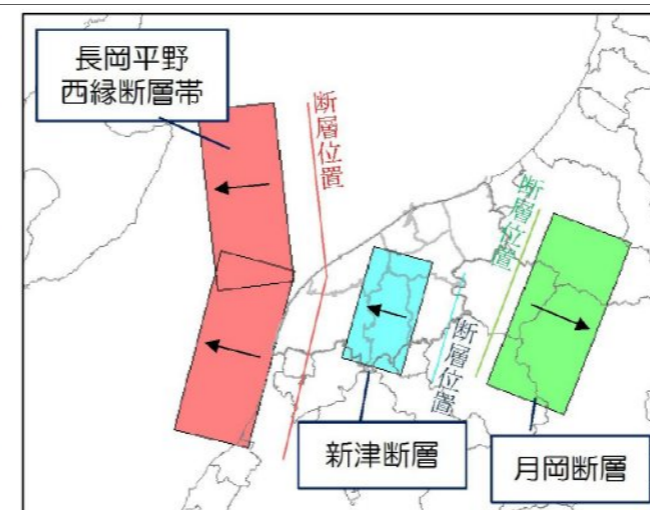
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

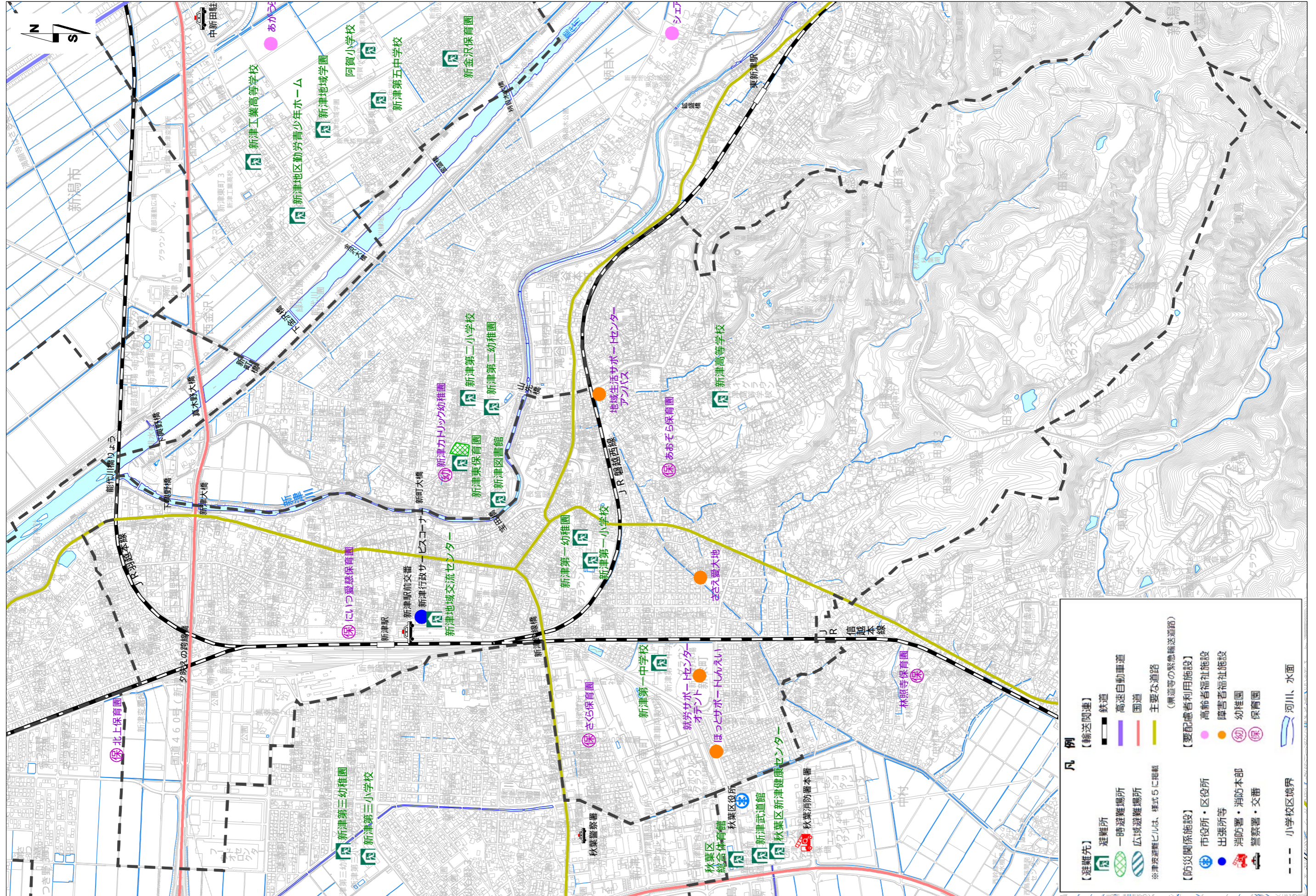
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

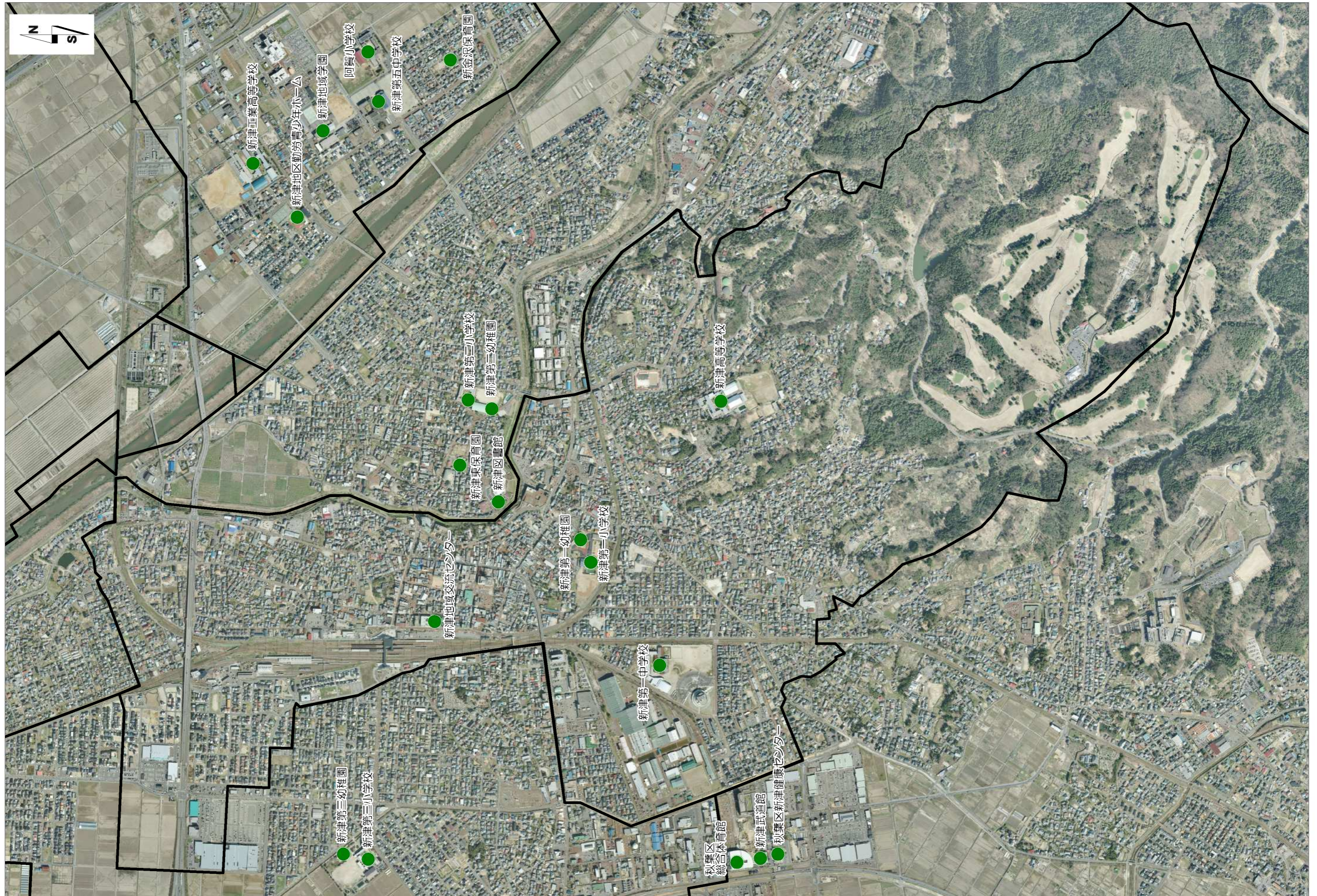
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

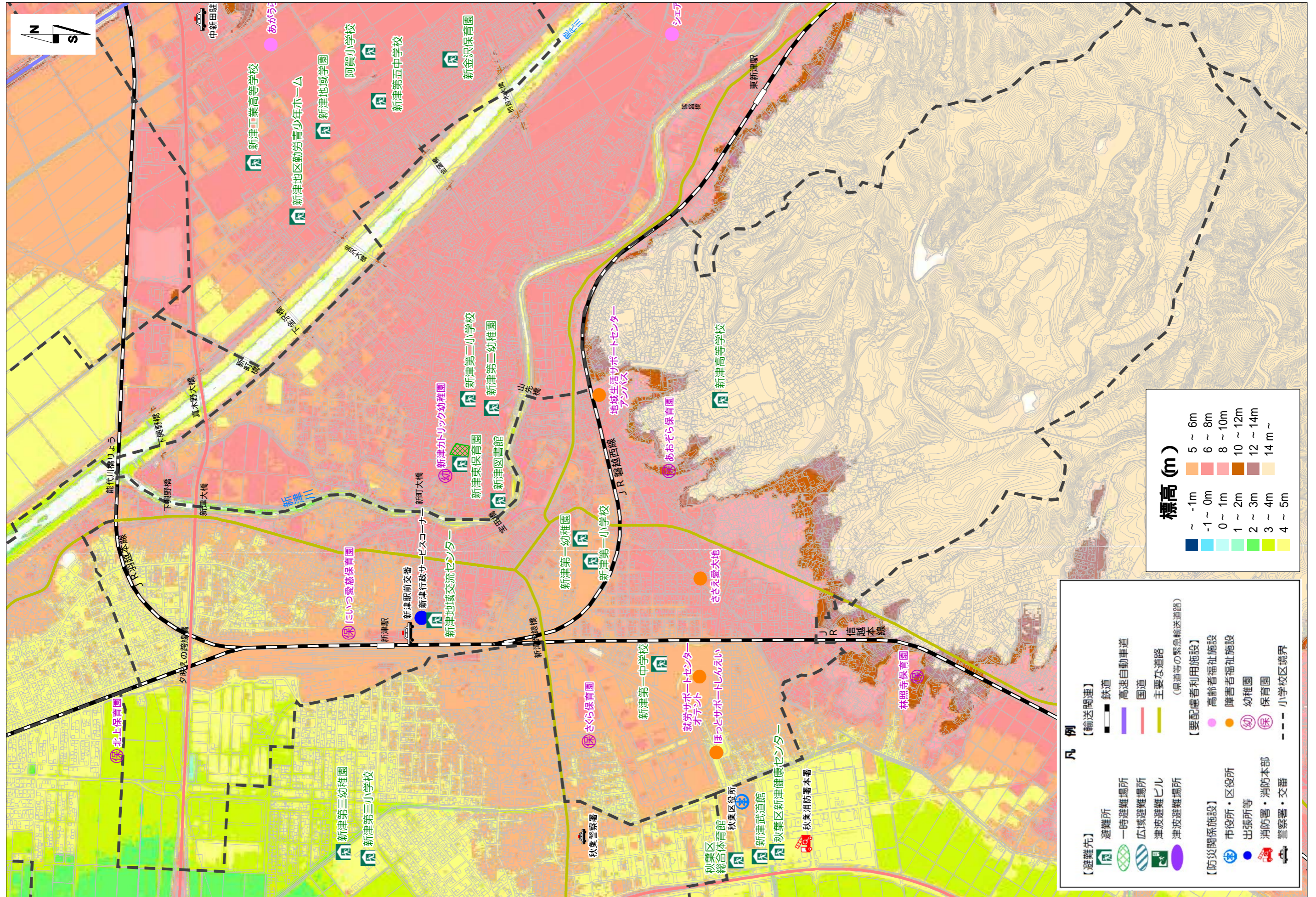


【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



[出典] 航空写真(平成26年4月)





標高 (m)

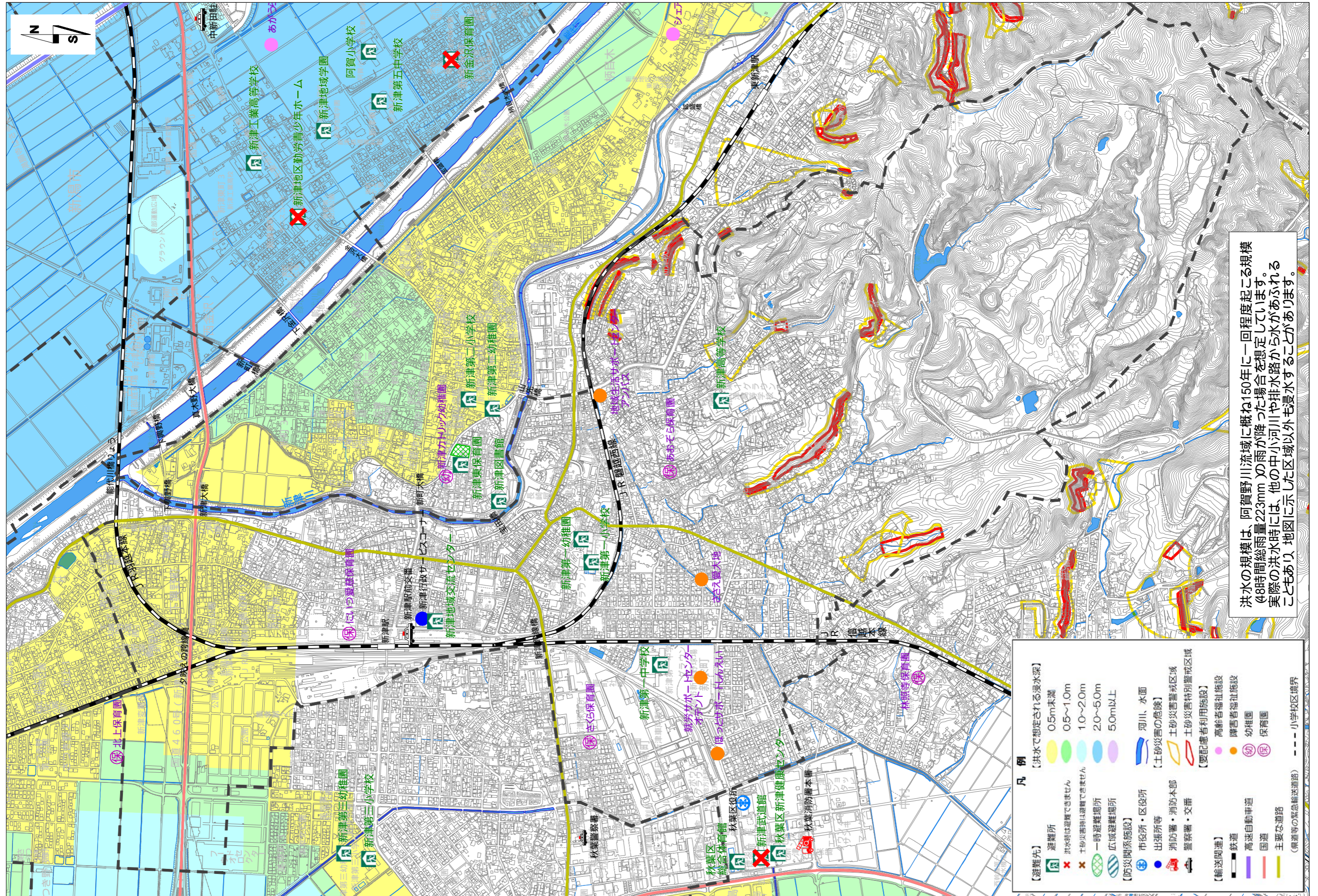
~ -1m	5 ~ 6m
-1 ~ 0m	6 ~ 8m
0 ~ 1m	8 ~ 10m
1 ~ 2m	10 ~ 12m
2 ~ 3m	12 ~ 14m
3 ~ 4m	14 m ~
4 ~ 5m	

凡例

【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
津波避難ビル	主要な道路
津波避難場所	(県道の緊急輸送道路)
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
	--- 小学校区境界

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

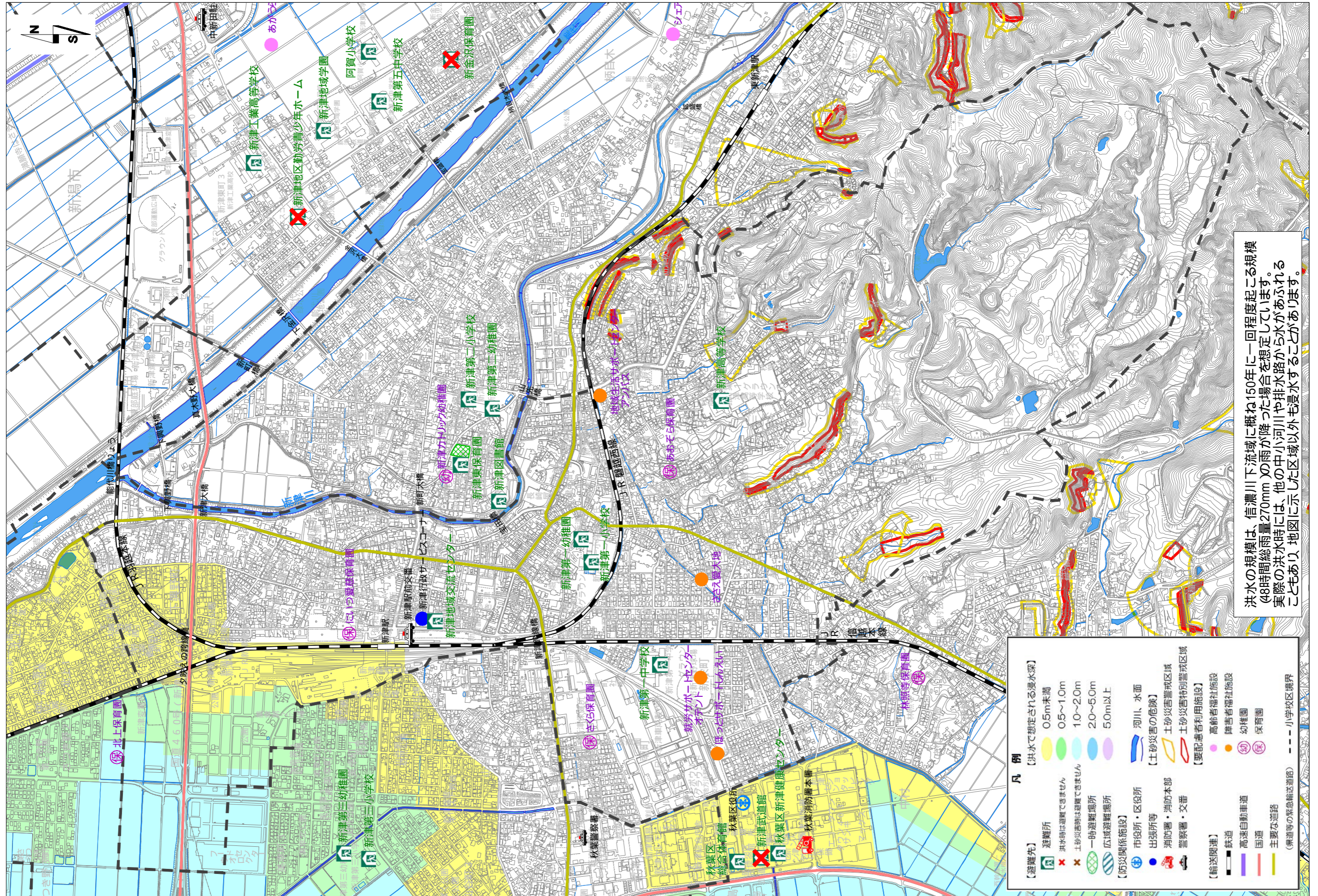




洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模
 (48時間総雨量223mm)の雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれる
 こともあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
 阿賀野川浸水想定区域 (国土交通省,平成14年1月31日)



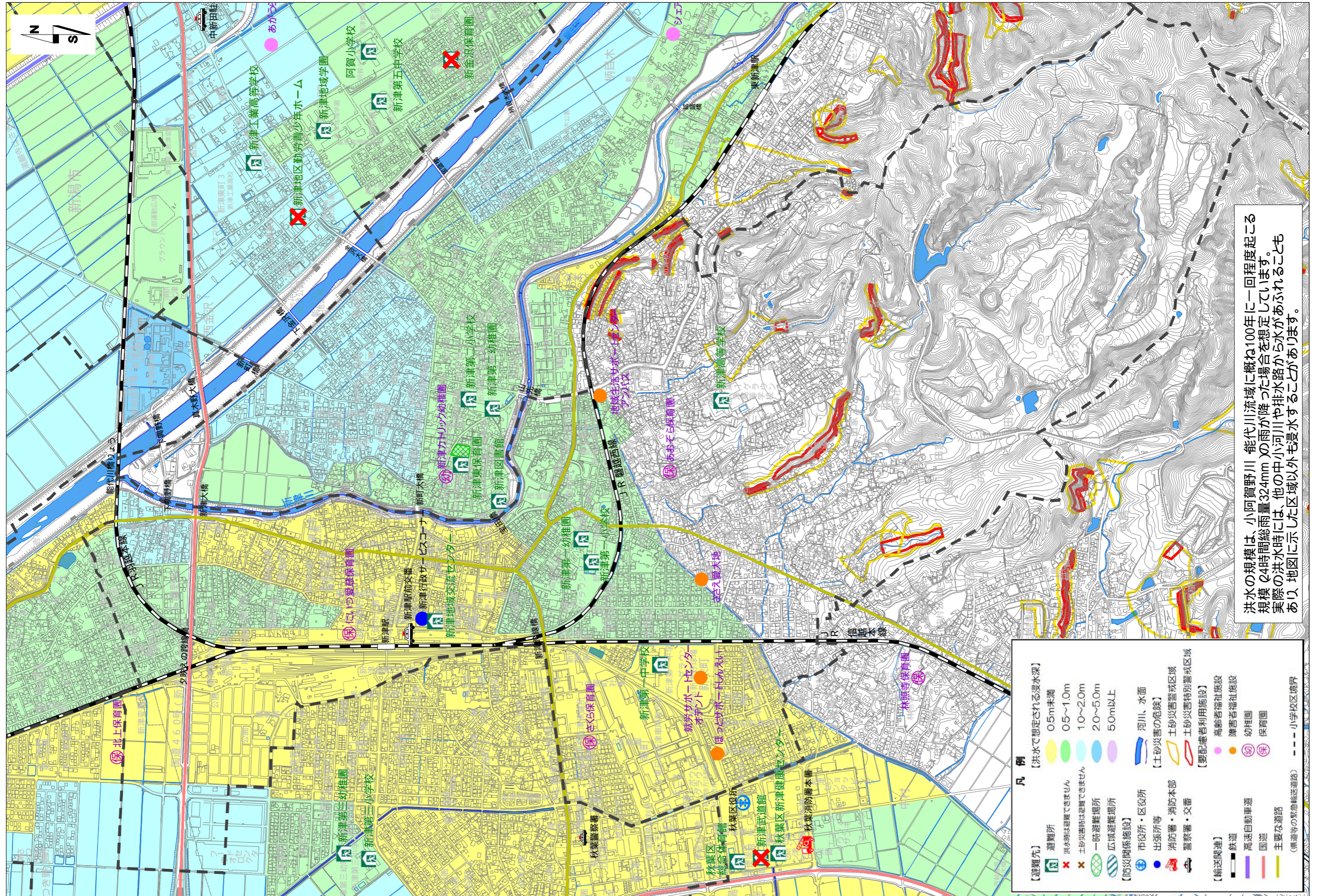


洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量270mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【避難先】	
避難所	洪水時は避難できません
一時避難場所	土砂災害時は避難できません
広域避難場所	
【防災関係施設】	
市役所・区役所	消防署、消防本部
出張所等	警察署、交番
河川、水面	土砂災害警戒区域
土砂災害の危険	土砂災害特別警戒区域
【要配慮者利用施設】	
高齢者福祉施設	障害者福祉施設
幼稚園	保育園
【輸送関連】	
鉄道	高速自動車道
国道	主要な道路
	（県道の緊急輸送道路）

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
信濃川下流浸水想定区域（国土交通省，平成14年4月30日）





洪水の規模は、小阿賀野川・能代川流域に概ね100年に一回程度起こる規模（24時間総雨量324mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
小阿賀野川 能代川浸水想定区域（新潟県，平成16年6月23日）

